

原子力規制検査の体制整備事業 ロジックモデル

(インプット)



(アクティビティ)



(アウトプット)



(アウトカム)



(解決すべき課題)

令和元年度
予算

292百万円

※うち当初予算90百万円

※うち補正予算145百万円

※うち前年度からの繰越

201百万円

※うち来年度への繰越

144百万円

原子力規制検査の体制整備事業

- ①米国でのリスク情報活用手法の調査
- ②国際会議への参加等による最新知見等の情報収集
- ③検査官への意識調査等の実施
- ④原子力規制検査業務システムの構築
- ⑤原子力規制検査HPの構築

原子力規制検査の体制整備事業

- ①リスク情報活用手法に関する研修(参加者:11)
- ②検査の最新知見を収集して作成した技術資料(技術情報数:6)
- ③委託調査で実施した聞き取り及びアンケート調査(調査数:214)
- ④原子力規制検査業務システムの整備
- ⑤原子力規制検査HPの整備

原子力規制検査の円滑な施行に向けた

- ・検査制度見直しに係る検討チームを開催(2ヶ月に一回の頻度)
- ・最新知見や抽出された課題を活用した検査ガイド類の制定(計画したガイド数の96%達成)
- ・原子力規制検査の試運用の実施(実用原子炉は全てのサイトに対し実施)
- ・原子力規制検査の運用に備えた基盤(検査業務システム、HP)の整備

原子力規制検査の円滑な施行

検査運用における最新の科学知見の反映
最新の知見等の共有



(上位政策・施策)

政策:

原子力に対する確かな規制を通じて、人と環境を守ること

施策:

原子力施設等に係る規制の厳正かつ適切な実施